

各班 における Will Can Must 分析結果

班名	Will(目指すべき姿)	強化すること①	Can(現状把握)	改善すること②	Must(課題)	課題解決③
A	・新メンバーの確保	・若者への情報の発信の仕方	・研修会を行う ・大学との連携	・学生ボランティアの確保	・学生の参加促進 ・ボランティアのレベルアップ	・学生ボランティアの継続的確保 (学生を含む若いボランティア仲間との交流/大学等)
B	—	—	—	—	・ボランティア人材の減少 ・情報発信	・団体間の横のネットワーク ・会員の充実 ・研修の充実 (ボランティア団体でネットワークを作る)
C	・多世代、多様性 ・明るく、楽しく ・継続性	—	・サポート活動 ・広 報 ・財源の確保	—	・会員増加 ・広 報 ・交流/人材 ・研 修	・広報/会員増 (広報活動を充実し、会員増を図る)
D	・参加したくなる 楽しい団体 ・いろいろな企画	・学習会の内容を深める	・学習会 ・人材不足 (コーディネーター不足) ・資金不足	・理念/ミッションを常に念頭に	・人材確保 ・ネットワーク ・資質の向上	・情報の発信、ネットワーク作り (ボランティア活動情報の発信、他団体とのネットワーク作り)
E	・継 続 ・人材育成 ・生きる力	・活動の意義/思いを常々確認	・現 状 (はじめやすい)	・継続的な活動ができる若い人材の募集	・課 題 (本に接する環境づくり) ・広 報	・子どもと楽しむ (子どもと一緒に本を楽しむ)

班名	Will(目指すべき姿)	強化すること①	Can(現状把握)	改善すること②	Must(課題)	課題解決③
F	・多様性 ・活動エリア	・分かり易いイベントで若者を誘う ・食べ物、飲み物で若者の習性に訴える	・コミュニケーション ・組 織	・研修などで魅力のアピール ・楽しい現場を発信	・意 識 ・価 値 ・動 機	・ボランティア活動における楽しさや魅力の発信 (ボランティア活動の情報を発信する、ボランティアの意義・楽しさの再認識)
G	・人材育成 ・社会貢献 ・自己実現	・広報不足(若者に参加を求める)	・高齢化 ・PR不足 ・消極的	・ボランティアのやり甲斐をSNS等でPR	・広 報	・情報の発信 (ボランティアに対して、価値や意義を見出し、若者を呼び込んでいく)
H	・多交流 ・海外への発信 ・ボランティア場所の美化	・若者と高齢者との意識の共有	・実 践 ・学生のとりこみ	・ボランティア団体と多くの大学の連携 (ボランティア団体と大学の交流)	・多世代交流 ・広 報 ・ボランティア意義	・ボランティアへの若者の参加 ・会社員(50代頃から)へボランティア参加を促すような教育を希望